

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	香川県坂出市	会計名	普通会計	承認年度	平成19年度
-----	--------	-----	------	------	--------

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
地方債現在高	19870.0	21764.0	1,894.0	24026.0	2,262.0	c
実質公債費比率	16.4	15.7	0.7	19.9	4.2	a
職員数	529.0	529.0	0.0	546.0	17.0	a
改善額	3111.0	4001.0	890.0	55.0	3,946.0	a
公営企業債現在高	-	-	-	-	-	-
累積欠損金比率	-	-	-	-	-	-
					総合判定	c

3. その他

() 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成20年3月 公表 (HP) 広報紙・その他 [])
 執行状況:平成21年12月 公表 (HP) 広報紙・その他 [])

() 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成20年2月 説明
 執行状況:平成 年 月 説明なし

団体名	香川県坂出市
会計名	普通会計

地方債現在高

類型	C
----	---

()推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	22,969	21,708	20,804	20,195	19,870	24,026
実績(見込)値(B)	22,904	21,436	21,598	21,829	21,764	
乖離値(C) (A - B)	65	272	794	1,634	1,894	2,262
乖離率(D) (C / A)	0.3%	1.3%	-3.8%	-8.1%	-9.5%	9.4%

()要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
臨時財政対策債 (平成21年度)			279	279	279	3年据置(429百万円 708百万円)	7
臨時財政対策債 (平成22年度)				872	872	3年据置(397百万円 1,269百万円)	7
臨時財政対策債 (平成23年度)					337	3年据置(372百万円 709百万円)	7
第三セクター等改革推進債 (土地区画特別会計)			425	382	340	据置なし(0 425百万円)	18
第三セクター等改革推進債 (臨海部土地造成特別会計)			875	787	700	据置なし(0 875百万円)	18
合計	-	-	1,579	2,320	2,528		

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

地方交付税が臨時財政対策債へ振替えられたことや、第三セクター等改革推進債が平成25年度までの時限措置で創設されて平成21年度に13億円発行したこと等により、当初計画時点では予定していなかった起債の発行が増加したため、地方債残高が増加する見込みである。

()改善に向けた取組及び今後の見通し

これまで投資的経費の抑制に取り組んできたことにより、一般会計の市債残高が2010年代には200億円を下回る見通しである。

()改善方針の進捗状況

市債発行を抑制し、平成21年度に財政健全化計画執行状況報告をおこなった時点での見込みよりも計画最終年度(平成23年度)の地方債現在高実績見込み値は10億円程度減少する見込みである。

団体名	香川県坂出市
会計名	普通会計

実質公債費比率

類型

a

()推移表

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	19.8	19.4	18.4	17.4	16.4	19.9
実績(見込)値(B)	20.0	19.3	17.9	16.6	15.7	
乖離値(C) (A - B)	0.2	0.1	0.5	0.8	0.7	4.2
乖離率(D) (C / A)	-1.0%	0.5%	2.7%	4.6%	4.3%	21.1%

()要因分析

(単位:百万円、%)

係数項目	平成21年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金	2,755,947	2,689,699	-			2,689,699
準元利償還金	802,622	729,248	-			729,248
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源	40,155	27,133	13,022	住宅新築資金貸付金元利収入を除外したことによる。	×	27,133
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金	1,519,272	1,491,016	28,256	下水道資本費平準化債発行見込み額の増加による、公害防止事業債に係る算入額の減少による。	×	1,491,016
標準財政規模	13,292,583	13,531,990	-			13,531,990
単年度実質公債費比率	17.0	15.8			単年度再算定比率	15.8

係数項目	平成22年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金	2,691,235	2,740,353	49,118	H21起債発行増加による。	7	2,691,235
準元利償還金	796,280	737,279	-			737,279
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源	40,155	26,174	13,981	住宅新築資金貸付金元利収入を除外したことによる。	×	26,174
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金	1,506,939	1,486,797	20,142	下水道資本費平準化債発行見込み額の増加による、公害防止事業債に係る算入額の減少による。	×	1,486,797
標準財政規模	13,266,630	13,780,804	-			13,780,804
単年度実質公債費比率	16.5	16.0			単年度再算定比率	15.6

係数項目	平成23年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金	2,613,724	2,660,208	46,484	H21・22起債発行増加による。	7	2,613,724
準元利償還金	738,533	690,095	-			690,095
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源	40,155	19,633	20,522	住宅新築資金貸付金元利収入を除外したことによる。	×	19,633
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金	1,481,233	1,471,976	9,257	下水道資本費平準化債発行見込み額の増加による、公害防止事業債に係る算入額の減少による。	×	1,471,976
標準財政規模	13,106,064	13,531,990	-			13,531,990
単年度実質公債費比率	15.7	15.4		15.4	単年度再算定比率	15.0
実質公債費比率	16.4	15.7			再算定比率	15.4

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

地方交付税が臨時財政対策債へ振替えられたことや、第三セクター等改革推進債が平成25年度までの時限措置で創設されて平成21年度に13億円発行したこと等により、当初計画時点では予定していなかった起債の発行が増加したため、元利償還金が増加する見込みである。

()改善に向けた取組及び今後の見通し

「坂出駅周辺主要プロジェクト」及び「土地開発公社経営健全化計画」は平成17年度に全て完了しており、平成21年度の実質公債費比率は地方債許可基準の18%を下回る17.9%と算定された。今後は実質公債費比率は逡減する見込みである。

()改善方針の進捗状況

平成21年度に財政健全化計画執行状況報告をおこなった時点では計画最終年度(平成23年度)の実質公債費比率見込み値は17.8%であったが、15.7%に減少し、当初計画を達成できる見込みである。

団体名	香川県坂出市
会計名	普通会計

職員数

類型	a
----	---

()推移表

(単位:名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	572	554	546	538	529	546
実績(見込)値(B)	572	546	534	527	529	
乖離値(C) (A - B)	0.0	8.0	12.0	11.0	0.0	17.0
乖離率(D) (C / A)	0.0%	1.4%	2.2%	2.0%	0.0%	3.1%

()要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響人数(単位:名)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

()改善に向けた取組及び今後の見通し

平成3年度より定員適正化に取り組み、当初839人であった普通会計の職員数は、平成22年4月には549人へと290人の削減を達成した。今後も平成27年4月の普通会計職員数500人体制を目標とする、第二次定員適正化計画(H17年度～H26年度)を着実に推進していく。

()改善方針の進捗状況

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

()改善に向けた取組及び今後の見通し

保育料徴収方法の見直し・法令集の追録の見直し・坂出駅西自転車駐車場の無料化・市営入船駐車場の運営見直し・坂出駅北口地下駐車場の使用料の改定等事務事業の見直しを行い、市民サービスの向上と新たな行政需要に的確に対応することを目標とする。また財政健全化に向けて、補助金・負担金等を見直し、民間委託などに取組んでいく。

()改善方針の進捗状況

今後の財政状況の見通し

(単位：百万円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	(計画前5年度) (決算)	(計画前4年度) (決算)	(計画前3年度) (決算)	(計画前々年度) (決算)	(計画前年度) (決算)	上段:決算 下段:計画	上段:決算 下段:計画	上段:決算 下段:計画	上段:決算見込 下段:計画	上段:決算見込 下段:計画
地方税	10,480	10,031	10,054	10,340	10,259	10,718 10,646	10,750 10,699	10,345 10,627	9,788 11,092	10,981
地方譲与税	1,059	1,086	1,293	1,319	1,539	1,134 1,170	1,011 1,228	970 1,264	926 1,288	1,314
地方特例交付金	290	273	263	258	236	62 62	90 62	99 62	76 24	24
地方交付税	2,695	2,651	2,527	2,603	2,056	1,965 1,936	2,299 1,794	2,778 1,774	2,795 1,282	1,189
小計(一般財源計)	14,524	14,041	14,137	14,520	14,090	13,879 13,814	14,150 13,783	14,192 13,727	13,585 13,686	13,508
分担金・負担金	413	367	361	349	351	351 344	366 344	368 344	385 344	345
使用料・手数料	757	686	647	643	629	637 621	705 664	700 669	687 664	659
国庫支出金	2,145	2,035	2,211	2,071	1,739	1,784 1,930	1,821 1,844	3,501 1,972	4,129 2,182	2,276
うち普通建設事業に係るもの	407	229	246	132	105	42 42	71 77	115 258	1,254 453	569
都道府県支出金	1,365	1,181	1,185	1,112	1,108	1,227 1,178	1,313 1,189	1,376 1,266	1,627 1,284	1,291
うち普通建設事業に係るもの	306	159	161	98	71	53 86	117 90	122 160	279 170	170
財産収入	52	10	173	39	72	73 38	40 11	71 11	25 11	11
寄附金	1	2	1	0	1	31 30	3 0	1 0	2 0	0
繰入金	200	200	600	14	286	233 393	118 264	5 90	316 116	127
繰越金	336	139	201	72	364	55 49	79 0	576 0	1,063 0	0
諸収入	2,425	2,227	1,907	1,831	1,695	1,604 1,623	1,559 1,534	1,443 1,549	1,421 1,564	1,579
うち特別会計からの貸付金返済額	0	0	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0 0	0
うち公社・三社からの貸付金返済額	1,500	1,500	1,300	1,300	1,210	1,180 1,201	1,157 1,201	1,083 1,201	1,083 1,201	1,201
地方債	2,783	2,674	1,880	1,542	1,140	1,487 1,542	1,039 1,240	2,489 1,409	2,633 1,654	2,234
特別区財政調整交付金	0	0	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0 0	0
歳入合計	25,001	23,562	23,303	22,193	21,475	21,361 21,562	21,193 20,873	24,722 21,037	25,873 21,505	22,030 21,659

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	(計画前5年度) (決算)	(計画前4年度) (決算)	(計画前3年度) (決算)	(計画前々年度) (決算)	(計画前年度) (決算)	上段:決算 下段:計画	上段:決算 下段:計画	上段:決算 下段:計画	上段:決算見込 下段:計画	上段:決算見込 下段:計画	
人件費	a	6,668	6,592	6,605	6,037	6,068	6,189	5,495	5,550	5,442	
うち職員給		4,704	4,518	4,372	4,159	4,043	3,939	3,624	3,396	3,371	3,580
物件費	b	2,073	1,972	2,015	1,920	1,844	1,858	1,797	2,150	2,180	2,070
維持補修費	c	182	185	240	161	176	168	177	171	127	128
a + b + c =	d	8,923	8,749	8,860	8,118	8,088	8,215	7,469	7,871	7,749	7,607
扶助費		2,778	2,862	3,146	3,202	3,213	3,411	3,532	3,670	4,571	3,551
補助費等		1,176	1,138	1,211	1,142	1,175	1,320	1,189	2,209	1,393	1,160
うち公営企業(法適)に対するもの		48	37	16	0	0	0	0	0	39	0
普通建設事業費		4,010	2,735	2,238	1,798	1,435	1,282	1,409	1,844	4,033	2,581
うち補助事業費		875	485	548	290	178	143	224	257	1,969	1,399
うち単独事業費		3,135	2,250	1,690	1,508	1,257	1,139	1,185	1,587	2,064	1,182
災害復旧事業費		5	16	215	202	6	5	4	2	8	5
失業対策事業費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公債費		2,977	2,983	3,117	3,130	3,145	3,108	2,943	2,693	2,740	2,660
うち元金償還分		2,151	2,227	2,416	2,516	2,588	2,608	2,508	2,327	2,402	2,299
積立金		384	294	179	162	373	96	79	305	1,384	0
貸付金		2,197	2,070	1,743	1,620	1,501	1,431	1,387	1,289	1,314	1,452
うち特別会計への貸付金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち公社、三社への貸付金		1,500	1,500	1,300	1,300	1,210	1,180	1,157	1,083	1,083	1,201
繰出金		2,353	2,452	2,437	2,455	2,484	2,414	2,605	3,835	2,661	2,681
うち公営企業(法非適)に対するもの		943	968	795	752	715	706	784	1,993	716	830
その他		59	62	85	0	0	0	0	0	20	333
歳 出 合 計		24,862	23,361	23,231	21,829	21,420	21,282	20,617	23,718	25,873	22,030
							21,562	20,873	21,037	21,505	21,659

【財政指標等】

(単位：百万円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	(計画前5年度) (決算)	(計画前4年度) (決算)	(計画前3年度) (決算)	(計画前々年度) (決算)	(計画前年度) (決算)	上段:決算 下段:計画	上段:決算 下段:計画	上段:決算 下段:計画	上段:決算見込 下段:計画	上段:決算見込 下段:計画
形式収支	139	201	72	364	55	79 0	576 0	1,004 0	0 0	0 0
実質収支	82	150	34	293	44	72 0	518 0	862 0	0 0	0 0
標準財政規模	13,688	12,899	12,985	12,977	12,904	12,912	12,881	12,824	12,511	12,734
財政力指数	0.864	0.864	0.862	0.858	0.871	0.884	0.893	0.875	0.845	0.944
実質赤字比率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経常収支比率 (%)	93.0	90.6	94.9	90.5	93.0	94.1 94.2	91.6 94.6	87.8 93.2	92.6 92.6	92.5
実質公債費比率 (%)	-	-	-	19.7	19.9	20.0 19.8	19.3 19.4	17.9 18.4	16.6 17.4	15.7 16.4
地方債現在高	26,656	27,102	26,448	25,474	24,026	22,904 22,969	21,436 21,708	21,598 20,804	21,829 20,195	21,764 19,870
積立金現在高	1,937	2,031	1,610	1,758	1,845	1,708 1,549	1,784 1,285	2,084 1,195	3,153 1,080	952
財政調整基金	1,045	939	461	522	822	855 594	929 432	1,232 395	1,937 332	257
減債基金	18	18	18	18	18	18 18	18 18	18 18	18 18	18
その他特定目的基金	874	1,074	1,131	1,218	1,005	835 937	837 835	834 782	1,198 730	677

行政改革に関する施策

項 目	具 体 的 内 容
1 合併予定市町村等にあつてはその予定とこれに伴う行革内容	なし
2 行革推進法を上回る職員数の純減や人件費の総額の削減	
地方公務員の職員数の純減の状況	課題 に対応する施策として、平成3年度より定員適正化に取り組み、当初839人であった普通会計の職員数は、平成22年4月には549人へと290人の削減を達成した。今後も集中改革プランの内容を達成するために、平成27年4月の普通会計職員数500人体制を目標とする、第二次定員適正化計画(H17年度～H26年度)を着実に推進していく。
給与のあり方	管理職手当について 平成22年度4月より、管理職手当を定率制から定額制へ移行した。
国家公務員の給与構造改革を踏まえた給与構造の見直し、地域手当のあり方	課題 に対応する施策として、国家公務員の給与構造改革に準じて、平均4.8%の給与水準の引下げや査定昇給制度の導入を柱とした給与構造の抜本的改革を、平成19年4月より実施。地域手当については平成22年4月より高松市に勤務する職員に国と同等の地域手当を支給。
技能労務職員の給与のあり方	課題 に対応する施策として、技能労務職員の退職にあわせ技能員業務の外部委託等を進め、新規の採用は行わない。特殊勤務手当等についても、本来の性質を勘案し、全体的な見直しを行う。 「技能労務職員の給与のあり方」については取組方針を平成20年4月に公表。
退職時特昇等退職手当のあり方	課題 に対応する施策として、平成19年4月より、退職時特昇は廃止。
福利厚生事業のあり方	平成15年度より段階的に市職員共済会に対する補助金を減額し、平成17年度からは補助金を給付事業・厚生事業のみに充て、掛金と1：1の割合で負担することとした。
3 物件費の削減、指定管理者制度の活用等民間委託の推進やPFIの活用等	
物件費の削減	平成16年に坂出市例規集をデータベース化したことにより、平成15年度1,088万円から平成16年度293万円へ約800万円の削減となっている。また、坂出駅西自転車駐車場の利用促進および駅周辺の放置自転車対策のため、平成17年度より管理委託業務を見直すとともに、平成18年7月より、駐車料金を無料化し、料金ゲート保守業務および自転車整理業務の経費を削減し、480万円の削減となっている。平成17年12月に市営入船駐車場の管理委託を中止し、自動ゲートによる24時間営業を行い、210万円の削減となっている。
指定管理者制度の活用等民間委託の推進やPFIの活用	平成17年10月から、長生園（養護老人ホーム）を市内の社会福祉法人に民設民営を条件に移管し、3000万円の削減となっている。家庭系の可燃ごみ等の収集運搬業務を4ヵ年で市直営から民間委託に移行していき、平成18年度では2,800万円の削減となっている。学校給食業務・学校技能員（用務員）業務の民間委託を進め、平成18年度ではそれぞれ2,300万円、9,000万円の削減となっている。

行政改革に関する施策（つづき）

項 目	具 体 的 内 容											
4 地方税の徴収率の向上、売却可能資産の処分等による歳入の確保	課題 に対応する施策として、平成17年に県および県下市町等で香川滞納整理推進機構を設立し、高額で悪質な滞納案件を対象に滞納整理を行っており、平成18年度から坂出市も活用している。平成18年度には7件4,842,900円の滞納整理をおこなった。また市有財産を調査し、売却可能であれば順次売払いの方向で検討している。											
5 地方公社の改革や地方独立行政法人への移行の促進	課題 に対応する施策として、土地開発公社経営健全化計画に、平成13年度から平成17年度の5ヵ年で取り組み、保有期間が長くなった土地を坂出市に買い戻すことにより、平成17年度末簿価総額を坂出市の標準財政規模の0.1以下まで抑えた。今後も、一般会計の財政事情を考慮しながら公社の経営健全化に努める。											
6 行政改革や財政状況に関する情報公開の推進と行政評価の導入												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="224 542 732 654">行政改革や財政状況に関する情報公開</td> <td data-bbox="732 542 2036 654"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="224 654 732 766"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="246 654 732 766">給与及び定員管理の状況の公表</td> <td data-bbox="732 654 2036 766">地方公務員法第58条の2及び坂出市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況の概要を広報誌、ホームページで公表。 また、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（平成17年6月21日閣議決定）に基づき、団体間の比較分析が可能となる給与情報をホームページで公表。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 766 732 877">財政情報の開示</td> <td data-bbox="732 766 2036 877">坂出市財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、毎年8月1日に前年度の決算状況を公表している。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 877 732 989">公会計の整備</td> <td data-bbox="732 877 2036 989">貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書の4表について、平成21年度より「総務省方式改訂モデル」を活用して作成・公表する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 989 732 1101">行政評価の導入</td> <td data-bbox="732 989 2036 1101">なし</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="732 654 2036 1101"></td> </tr> </table>	行政改革や財政状況に関する情報公開		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="246 654 732 766">給与及び定員管理の状況の公表</td> <td data-bbox="732 654 2036 766">地方公務員法第58条の2及び坂出市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況の概要を広報誌、ホームページで公表。 また、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（平成17年6月21日閣議決定）に基づき、団体間の比較分析が可能となる給与情報をホームページで公表。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 766 732 877">財政情報の開示</td> <td data-bbox="732 766 2036 877">坂出市財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、毎年8月1日に前年度の決算状況を公表している。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 877 732 989">公会計の整備</td> <td data-bbox="732 877 2036 989">貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書の4表について、平成21年度より「総務省方式改訂モデル」を活用して作成・公表する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 989 732 1101">行政評価の導入</td> <td data-bbox="732 989 2036 1101">なし</td> </tr> </table>	給与及び定員管理の状況の公表	地方公務員法第58条の2及び坂出市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況の概要を広報誌、ホームページで公表。 また、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（平成17年6月21日閣議決定）に基づき、団体間の比較分析が可能となる給与情報をホームページで公表。	財政情報の開示	坂出市財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、毎年8月1日に前年度の決算状況を公表している。	公会計の整備	貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書の4表について、平成21年度より「総務省方式改訂モデル」を活用して作成・公表する。	行政評価の導入	なし	
行政改革や財政状況に関する情報公開												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="246 654 732 766">給与及び定員管理の状況の公表</td> <td data-bbox="732 654 2036 766">地方公務員法第58条の2及び坂出市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況の概要を広報誌、ホームページで公表。 また、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（平成17年6月21日閣議決定）に基づき、団体間の比較分析が可能となる給与情報をホームページで公表。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 766 732 877">財政情報の開示</td> <td data-bbox="732 766 2036 877">坂出市財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、毎年8月1日に前年度の決算状況を公表している。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 877 732 989">公会計の整備</td> <td data-bbox="732 877 2036 989">貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書の4表について、平成21年度より「総務省方式改訂モデル」を活用して作成・公表する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="246 989 732 1101">行政評価の導入</td> <td data-bbox="732 989 2036 1101">なし</td> </tr> </table>	給与及び定員管理の状況の公表	地方公務員法第58条の2及び坂出市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況の概要を広報誌、ホームページで公表。 また、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（平成17年6月21日閣議決定）に基づき、団体間の比較分析が可能となる給与情報をホームページで公表。	財政情報の開示	坂出市財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、毎年8月1日に前年度の決算状況を公表している。	公会計の整備	貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書の4表について、平成21年度より「総務省方式改訂モデル」を活用して作成・公表する。	行政評価の導入	なし				
給与及び定員管理の状況の公表	地方公務員法第58条の2及び坂出市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況の概要を広報誌、ホームページで公表。 また、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」（平成17年6月21日閣議決定）に基づき、団体間の比較分析が可能となる給与情報をホームページで公表。											
財政情報の開示	坂出市財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、毎年8月1日に前年度の決算状況を公表している。											
公会計の整備	貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書の4表について、平成21年度より「総務省方式改訂モデル」を活用して作成・公表する。											
行政評価の導入	なし											
7 その他												

注1 上記区分に応じ、「財政状況の分析」の「財政運営課題」に掲げた各課題に対応する施策を具体的に記入すること。その際、どの課題に対応する施策が明らかとなりに付した課題番号を引用しつつ、記入すること。

2 必要に応じて行を追加して記入すること。

繰上償還に伴う行政改革推進効果

1 主な課題と取組及び目標

課題	取組及び目標
1 職員数の純減や人件費の総額の削減	平成3年度より定員適正化に取り組み、当初839人であった普通会計の職員数は、平成22年4月には549人へと290人の削減を達成。今後も平成27年4月の普通会計職員数500人体制を目標とする、第二次定員適正化計画(H17年度～H26年度)を着実に推進。
2 公債費負担の健全化（地方債発行の抑制等）	今後全ての経費についての計画期間の延長や事業費等の見直しを行うことにより、市債発行額を抑制することに努める。具体的には、一般会計ベースでの年間市債発行額を抑制することで、一般会計の市債残高を2010年代に200億円より下回ることを目標とする。
3 公営企業会計に対する基準外繰出しの解消	本市の公営事業については、平成20年度決算では宅地造成の外4事業において総額約20億円の累積赤字を有していたが、平成21年度に第三セクター等改革推進債を活用して宅地造成2事業の累積赤字を解消し、平成21年度決算では累積赤字の総額は約5億円となっている。今後は、一定の基準外繰出しは必要であるが、基準外繰出額は大幅に減少するものと思われる。
4 事務事業の見直し及び財政健全化	保育料徴収方法の見直し・法令集の追録の見直し・坂出駅西自転車駐車場の無料化・市営入船駐車場の運営見直し・坂出駅北口地下駐車場の使用料の改定等事務事業の見直しを行い、市民サービスの向上と新たな行政需要に的確に対応することを目標とする。また財政健全化に向けて、補助金・負担金等を見直し、民間委託などに取組み、学校幼稚園の見直しをおこなっている。

注 必要に応じて行を追加して記入すること。

2 年度別目標

(単位：人、百万円)

課 題	項 目	実 績					計 画 前 5 年 度 実 績	目 標					計 画 合 計
		平成14年度 (計画前5年度) (決算)	平成15年度 (計画前4年度) (決算)	平成16年度 (計画前3年度) (決算)	平成17年度 (計画前2年度) (決算)	平成18年度 (計画前1年度) (決算見込)		平成19年度 上段:決算 下段:計画	平成20年度 上段:決算 下段:計画	平成21年度 上段:決算 下段:計画	平成22年度 上段:決算見込 下段:計画	平成23年度 上段:決算見込 下段:計画	
	職員数	685	672	645	620	603		572	546	534	527	529	
	増減数	16	13	27	25	17	98	31	18	8	8	9	
	職員数のうち一般行政職員数	388	383	372	362	361		346	334	337	340	338	
	増減数	10	5	11	10	1	37	15	12	3	3	2	
	職員数のうち教育職員数	45	45	44	39	35		33	35	35	34	33	
	増減数	3	0	1	5	4	13	2	2	1	1	1	
	職員数のうち警察職員数												
	増減数												
	職員数のうち消防職員数	73	73	72	73	73		74	73	74	74	74	
	増減数	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	
	職員数のうち技能労務職員数	179	171	157	146	134		119	112	101	91	85	
	増減数	4	8	14	11	12	49	15	7	11	10	6	
	実質公債費比率	-	-	-	19.7	19.9		20.0	19.3	17.9	16.6	15.7	
	増減						0	0.1	0.6	2.0	3.3	4.2	
	地方債現在高	26,656	27,102	26,448	25,474	24,026		22,904	21,436	21,598	21,829	21,764	
増減		446	654	974	1,448	2,630	1,122	1,468	162	231	65		
1	人件費(退職手当を除く。)	5,645	5,403	5,226	4,969	4,848	4,685	4,374	4,182	4,127	4,143		
	改善額						163	474	666	721	705		
4	行政管理経費(物件費)	23	31	22	21	17	9	9	9	9	9		
	改善額				4	4	8	11	11	8	8		
4	歳入(地下駐使用料・ごみ袋有料化)	44	45	46	51	50	42	119	120	132	132		
	改善額				5	4	8	69	70	82	82		
4	補助金・負担金見直し	6	5	5	7	0	2	25	25	25	25		
	改善額				7	7	0	0	0	0	0		
4	民間委託などの取組	不明	不明	不明	939	953	834	803	766	724	707		
	改善額						119	150	187	229	246		
4	学校・幼稚園の見直し	不明	26	18	0	0	0	0	0	0	0		
	改善額			8	31	31	70	0	0	0	0		
計画前5年間改善額 合計						90						4,001	
							改善額 合計					3,111	